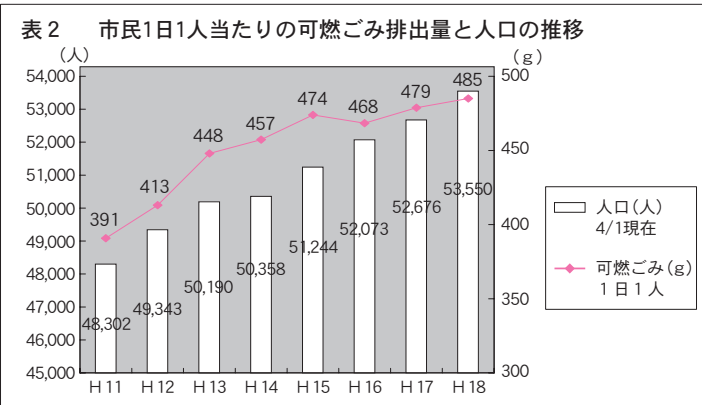
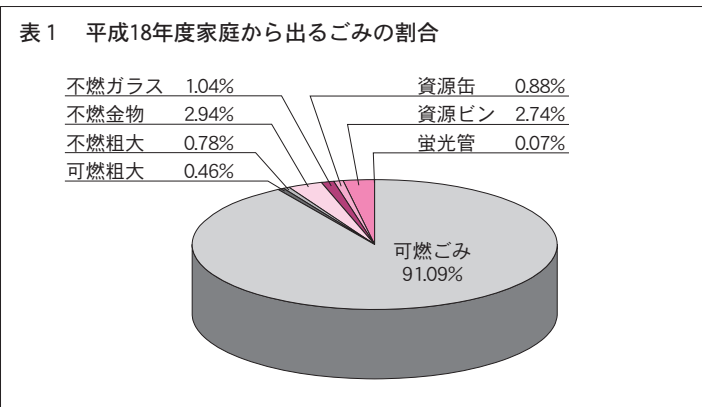


平成18年度における市全体のごみ排出量(約16,000ト)のうち、家庭から出るごみは約65%(約10,400ト)です。そのごみの中で、可燃ごみの割合が約91%を占めています(表1)。

1日1人当たりの可燃ごみの排出量は年々増加しています(表2)。平成18年度で見ると1日1人当たり485gで、目安としてMサイズの卵6個分程度と同じ重さになります。

このままごみの量が増え続けると、焼却に伴う費用が増え、皆さんの大切な税金を多く使うことになります。



- ごみを「無くす」ことはできませんが、「ごみを「減らす」」ことができます。
- こんなことに注意しましょう。
- マイバッグ・マイ風呂敷を持参してレジ袋は使わない
- 無計画な買い物はしない
- 詰め替え商品やリサイクルしやすい商品を選び
- 修理したり用途を変えたりして使う

家庭から出るごみは、こんなにあります！

No. 17

環境課 内線 307

# 窓口業務の時間延長と土・日開庁を実施します

例年3月、4月は就職、転勤などで一年を通じて最も転入や転出が多く、市民課などの窓口が大変込み合いご迷惑をお掛けしています。

そこで、昨年に引き続き皆さまの便宜と窓口の待ち時間の緩和を図るため、窓口業務の時間延長と土・日開庁を実施します。

- ◇実施窓口 市民課、保険課、福祉課およびこども課
- ◇期間 3月23日(日)、3月29日(土)～4月5日(土)
- ※平日は、午後7時まで延長します
- ※土・日曜日は、午前8時30分から午後5時15分まで
- ※通訳(ポルトガル語)
- ・土曜日は午後1時から5時15分まで
- ・日曜日は午前8時30分から午後5時15分まで

## ◇取り扱い業務

市民課	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民異動届(転入、転出、転居、世帯変更など)の受け付け</li> <li>印鑑登録(市民カード)申請の受け付け</li> <li>外国人登録(新規、変更、確認など)申請の受け付け</li> <li>戸籍の届出の受け付け</li> <li>各種証明書の交付</li> <li>年金の資格異動などの受け付け(社会保険事務所などへの確認を要する場合を除く)</li> </ul>
保険課	<ul style="list-style-type: none"> <li>国民健康保険の資格異動の受け付け、被保険者証の交付</li> <li>国民健康保険に関する高額療養費、出産育児一時金、葬祭費などの給付申請の受け付け</li> <li>国民健康保険料の納付</li> <li>老人医療対象者の資格異動の受け付け(～3/31)</li> <li>後期高齢者医療の資格異動の受け付け(4/1～)</li> <li>介護保険の要介護認定、要支援認定の相談および申請の受け付け</li> </ul>
福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者福祉サービスの受け付け</li> <li>福祉医療費受給者証(乳幼児、重度心身障害者、母子家庭など)の申請の受け付け</li> <li>障害者手帳の住所変更の受け付け</li> </ul>
こども課	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当の申請の受け付け</li> </ul>

## 注意事項

- 1 住居表示地区(太田、古井地区)への転入・転居届で、住居番号が付番されていない場合は、平日と同様に即日受け付けはできません。事前に市民課へご相談ください。
- 2 本籍地が他市区町村にある場合など、他市区町村との照合確認が必要な届け出は、平日の時間内に再度来庁していただく場合があります。
- 3 死亡届は、火葬許可証の交付を伴いますので、午前8時30分から午後5時15分までの受け付けとなります。
- 4 証明書の種類によっては、即日交付できない場合があります。
- 5 手続きに必要なものなど不明な点は、事前にお問い合わせください。

市民課 内線 225

保険課 内線 221

福祉課 内線 316

こども課 内線 309

## 考えよう。共生時代⑩

### ブラジルの保健センター(後半)

日本では貧困差はあまり感じられないと思いますが、ブラジルでは大変大きく、保健に対する意識も同様に差があります。そのため、保育園、小・中・高・大学の入園、入学時に予防接種手帳の提出が義務付けられており、接種を受けていない場合、入園、入学ができないことから、年齢に合った予防接種を必ず受けなければならぬシステムになっています。

(文責 バルボザ・仲)

今回は保健センターで行う予防接種についてお話します。日本で出産されたブラジル人のお母さんが、「予防接種はいつ始めるのですか」と心配そうに尋ねて来ます。それは予防接種にもブラジルと日本の相違点があるからです。

ブラジルでは、最初は生後12時間以内にB型肝炎(1回目)とBCGの予防接種をします。接種方法も違い、BCGについては、日本ではスタンブ方式ですが、ブラジルでは皮下注射です。生後1カ月でB型肝炎(2回目)、2カ月で第1期初回のポリオと四種混合(DPT+Hib)を同時に、2カ月ごとにポリオと四種混合を3回接種します。1歳で風疹(ひんしん)、麻疹(ましん)、おたふくかぜの三種混合、1歳3カ月でDPTとポリオ第一期追加、4～6歳でDPTとポリオの第二期追加を行います。また、各州で予防接種のカレンダーも違ってきます。

そのほか、年に何回かブラジル全国同時にポリオ中心に接種する日があり、定期の予防接種を受けていても、その日は特別で、もう一度接種を受けます。これをポリオキャンペーンといいます。

## シリーズ

# Bom Dia